

## 中学校 国語科 シラバス

### 3年間のねらい 学習目標

国語の授業ではいろいろな言語能力を同時進行で総合的に学習することになる。たとえば、「作品の感想を発表する」という学習行為一つをとっても、「読む」「話す」「聞く」という三つの言語活動が含まれている。そういう学習行為を繰り返すことによって、高い学力を習得してほしいと願っている。具体的には以下ようになる。

文学的文章での目標は「読解力」をつけることだ。作品を客観的に分析する方法などを学び、「行間を読む」ことはもちろん、象徴・対比などの表現や作品の構成に注目して主題に迫るなど、自分の力で作品を読解できるようになることを目指している。

作品を客観的に読む一方で、文学的文章を通じて作者・登場人物の考え方や生き方に触れる。授業の中で、それに対するさまざまな考え方も知る。それらを通して、自分だけの世界に閉じこもらず、他人を理解したり、いろいろな角度から物事を考えたりできるよう、精神的に成長することも大切だと考えている。

説明的文章では、文章の要旨やその構成を押さえることを目標としている。いろいろな分野の文章に触れることで、知識・視野を広げることが大切だ。文章を読んでいくなかで、根拠を明らかにして自分なりに解釈し、それを他人に納得させる力も身につけていく。また、文章を無批判に受け入れるだけでなく、筆者の論理を検証したり、自分の意見を持ったりする練習も行う。

古典を学ぶ目的は、それを深く読み味わうことによって過去とつながることである。いろいろな分野の古典を読むことによって、古人の習慣や考え方に触れる。そこに現代人と共通の感覚を見つけることによって、古典に対する親しみや共感を持ってほしい。

現代では、文章の読解力だけでなく、表現力の向上も求められている。それゆえ、文章の構成を意識しながら、いろいろな角度から物事をとらえ、最終的に自分の主張を述べることも目標に挙げたい。そのために、段階的に学年別の到達目標を設定している。自分を表現することで、自分を客観的に見たり新しい自分を発見したりできればと考えている。

第1学年 国語 (週3時間)	教科書	三省堂 『現代の国語 1』 三省堂 『現代の書写 1・2・3年』
	副教材	浜島書店 『国語便覧 (大阪府版)』、漢字テキスト、文法テキスト

### 学習到達目標

中学1年生の国語においては、基礎学力と学習技能を身につけることを目標とする。

- 1, 漢字 中学1年生の漢字と、中学2年生の漢字の一部を先取りして学習する。書き取り練習を重ね、正確に書く力とともに、美しく速く書く力を身につける。
- 2, 文学的文章 多様な表現を味わい、そこから情景や心情を深く読み取るとともに、主題を読み取る力を育てる。
- 3, 説明的文章 文章の展開をとらえ、筆者の見方や考え方を理解するとともに、自らの考えを持つ意欲を養う。
- 4, 古典的文章 古文においては五十音図と歴史的仮名遣い、漢文においては返り点の読み方・付け方を理解し、古典を読むための基礎的な知識を身につける。また、音読・暗唱することで古典のリズムに触れ、興味・関心を育てる。
- 5, 文法 言葉の単位、文の成分、品詞の分類、動詞の活用についての知識を習得する。
- 6, 読書 短編の作品を中心に読み、読書の習慣をつくる。
- 7, 書写 文字を書くときの正しい姿勢を身につけ、楷書の書き方を学ぶ。  
中学1年生の表現では、まず書き言葉と話し言葉の違い、主述の正しい文章の書き方、原稿用紙の使い方を学習し、わかりやすい文章を書くための基礎を身につける。その上で、スピーチの仕方、読書感想文・手紙・意見文の書き方を学習して、様々な種類の文章を書き、表現の幅を広げる。
- 8, 主体的に学ぶ力 他者の意見を取り入れながら意見を主張し、言葉を通して積極的に他者と関わる。

**評価の観点**

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価 規 準	実社会に必要な国語の知識や技能を十分に身につけ、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を十分に身につけ、他者に自分の思いや考えを分かりやすく正確に伝えている。	言葉がもつ価値に気づき、読書を通じて自己を向上させ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わっている。

**学習方法**

授業を大切にすることが基本である。授業前には必要な物を準備し、着席しておく習慣を付ける。

授業中は、教師の説明や指示を注意深く聞き、授業の流れに沿って学習できるようにする。ノートは板書や教師の説明等を、丁寧な字で確実に書くようにし、復習時に要点が理解できるものを作る。

授業時に与えられた課題は、丁寧に仕上げ、期限を守って提出することを心掛ける。

**年間シラバス** (1年間の学習予定表)

<国語 週3時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学 期	1. 導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい学習態度(漢字スキル・百人一首等)を確立する。</li> <li>授業に必要な技能(ノートの取り方・発言の仕方・音読の仕方等)を習得する。</li> <li>自ら進んで発表するとともに、周囲の意見を聞き、自分の意見をまとめる。</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語への関心・意欲・態度</li> <li>話す・聞く能力</li> <li>書く能力</li> <li>読む能力</li> <li>言語についての知識・理解・技能</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 定期考査の成績 定期考査においては、知識・理解や読む能力に偏ることなく、書く能力などをみる問題も出題する。</p> <p>2. 学習態度等の平常点 (1) 授業時などの学習過程で、評価の観点の5項目について評価する。 (2) 課題などの提出状況・復習テスト・小テストの成績などを評価する。</p>
	2. 詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩を読んでどのような発見があったかを話し合う。</li> </ul>	
	3. 説明文	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実と意見を読み分ける。</li> <li>大段落ごとに文章を要約し、要旨をとらえる。</li> </ul>	
	4. 小説	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の視点を理解し、それらがどのように展開されているか読み分ける。</li> </ul>	
	5. 古文	<ul style="list-style-type: none"> <li>五十音図についての理解を深め、歴史的仮名遣いを習得する。</li> <li>古文を音読・暗唱し、古典のリズムに触れる。</li> <li>物語の全体を理解し、古文に興味を持つ。</li> </ul>	
	6. 漢文	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文を音読・暗唱し、漢文のリズムや表現に慣れる。</li> <li>漢文を読み、用法や意味を理解する。</li> <li>返り点の読み方、付け方を習得する。</li> </ul>	
	7. 文法	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の単位、文節相互の関係、文の成分を学習する。</li> </ul>	
	8. 漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書準拠のドリルを用い、中学1年の漢字を習得する。</li> </ul>	
	9. 読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>短編を中心に読書し、本を読む習慣をつける。</li> </ul>	
	10. 書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を書くときの姿勢や基本的な運筆を学習する。</li> </ul>	

2 学 期	1. 小説	・登場人物の関係に注意し、出来事の展開、構成の仕方、表現の特徴について自分の考えをまとめる。
	2. 説明文	・文章の構成や要旨をとらえ、目的や必要に応じて要約する。 ・事実と意見を区別し、筆者の見方や考え方を理解する。
	3. 小説	・人物の心情や行動の意味を理解し、作品の大きな構成や主題をとらえる。 ・自ら進んで発表するとともに、周囲の意見を聞き、自分の意見をまとめる。
	4. 文法	・品詞の分類・活用のない自立語を学習する。
	5. 漢字	・教科書準拠のドリルを用い、中学1年の漢字を習得する。
	6. 読書	・短編を中心に読書し、本を読む習慣をつける。
	7. 書写	・楷書と仮名を調和させて書くことを学習する。
3 学 期	1. 文法	・動詞の活用を学習する。
	2. 小説	・創意工夫が施された表現から、場面設定や人物の心の動きを理解する。 ・自ら進んで発表するとともに、周囲の意見を聞き、自分の意見をまとめる。
	3. 説明文	・筆者が提起する問題を向き合い、自分の視点や考え方を広くする。
	4. 漢字	・教科書準拠のドリルを用い、中学1年の漢字を習得する。
	5. 読書	・短編を中心に読書し、本を読む習慣をつける。

第1学年  国語表現 (週1時間)	教科書	なし
	副教材	浜島書店 『国語便覧 (大阪府版)』

### 学習到達目標

原稿用紙や手紙の書き方を身につけ、正確な文章を書けるようにする。意見文や読書感想文などの比較的長い作文においても自分の意見をまとめる力を育てる。また、スピーチなどの発表を通して、効果的な情報発信の方法を身につける。

### 評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価 規 準	原稿用紙の使い方を理解し、文章を書くのにふさわしい言葉を使うことができる。また、短時間のスピーチでの効果的な話し方を理解し、実践している。	主語や述語のねじれがない文章を書く力を身につけ、他者に自分の思いや考えを分かりやすく正確に伝えることができる。	蔵書検索機能や図書分類法の特徴を理解し、幅広い読書を心掛けている。また発表において聞き手に伝わりやすいよう工夫したり、他者の意見を積極的に聞いたりする姿勢を持って

			いる。
--	--	--	-----

### 学習方法

1学期は原稿用紙・手紙の書き方について学び、文章の書き方を確認する。また図書館の利用方法についても理解を深める。2学期は1学期で学んだことを生かして読書感想文等に取り組む。また、発表を通して効果的に話す能力を養う。3学期は1, 2学期に学んだ文章の書き方、発表の仕方をふまえて、意見文やブックトーク等に取り組む、次年度の総合的な学習へとつながる力を養う。

### <表現 週1時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	1. 導入 2. プリント教材 3. 原稿用紙の使い方 4. 手紙の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい学習態度（音読・姿勢等）を確立する。</li> <li>主述や修飾の関係が正しい文を書く。</li> <li>書き言葉と話し言葉の違いを理解し、書き言葉を正しく使えるようになる。</li> <li>常体と敬体の違いを理解し、統一した文体で書くことができる。</li> <li>手紙の形式を学習し、状況に応じた手紙を書く。</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力等</li> <li>学びに向かう力、人間性等</li> </ul> <p>【評価方法】</p> 提出物の提出状況と授業態度等
2学期	1. 読書感想文等 2. スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>マインドマップを使って、書く内容を整理する。</li> <li>原稿用紙の使い方を理解し、推敲する。</li> <li>決められた時間に自分の考えをまとめ、スピーチを行う。</li> </ul>	
3学期	1. ブックトーク 2. 意見文 3. 暗唱詩文集	<ul style="list-style-type: none"> <li>本の紹介ポップを書き、それをもとに決められた時間に自分の考えをまとめ、スピーチを行う。</li> <li>班で協力して、スピーチを行う。</li> <li>与えられた材料について自分の考えを持ち、マインドマップを使って、その考えをまとめる。</li> <li>事実と意見を区別し、説得力のある意見文を書く。</li> <li>原稿用紙の使い方を理解し、推敲する。</li> <li>名文を音読・暗唱する。</li> </ul>	

第2学年 国語 (週4時間)	教科書	三省堂 『現代の国語 2』
	副教材	浜島書店 『国語便覧 (大阪府版)』、漢字テキスト、文法テキスト

### 学習到達目標

中学2年生においては、基礎学力と学習技能を定着させることを目標とする。

- 1, 漢字 中学2年生と3年生の漢字の学習を終える。また、漢字検定3級の取得を目指す。
- 2, 文学的文章 さまざまな表現を味わい、情景や心情を深く読み取るとともに、主題を読み取る力を育てる。また、読み取った主題を手がかりに、自らの世界観を広げる。
- 3, 説明的文章 文章の展開をとらえ、筆者の見方・考え方を理解するとともに、それらを手がかりに自らの考えを整理する。
- 4, 古典的文章 古文においては、中1で身につけた知識を活かしながら、場面の展開、人物の心情を読み取る。また、漢文においては訓読文を書き下し文に直す方法を学習するとともに、古人の心情に触れる。

- 5, 文法 形容詞・形容動詞の活用、助詞、助動詞についての知識を習得し、口語文法の学習を終える。  
 6, 読書 中長編の作品を読み、読書の楽しみを味わう。  
 7, 主体的に学ぶ力 他者の意見を取り入れながら意見を主張し、言葉を通して積極的に他者と関わる。

**評価の観点**

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	漢字検定3級を取得し、実社会に必要な国語の知識を学ぶ中で、それらを概念としても理解し、また技能を十分に習得している。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を十分に身につけ、他者に自分の思いや考えを分かりやすく正確に伝えることができる。	言葉がもつ価値への認識が深く、読書を通じて自己を向上させ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わることができる。

**学習方法**

授業を大切にすることが基本である。授業前には必要なものを準備し、着席しておく習慣を付ける。授業中は、教師の説明や指示を注意深く聞き、授業の流れに沿って学習するのは勿論のこと、教材に応じて国語辞典あるいは古語辞典を引き、自ら学ぼうとする姿勢で臨む。ノートは板書や教師の説明を丁寧な字で確実に書くことに加え、自分なりの疑問や気づきをもメモする習慣を付ける。授業時に出された課題は、丁寧に仕上げ、期限を守って提出することを心掛ける。

**年間シラバス** (1年間の学習予定表)

<週4時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 説明文 2. 短歌 3. 古文 4. 小説 5. 詩 6. 文法 7. 漢字 8. 読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成を把握し、筆者の論理の展開の仕方を捉える。</li> <li>短歌のリズムや表現技法を学び、短歌に詠まれた情景や心情を味わう。</li> <li>暗唱練習をし、古文のリズムに親しむ。</li> <li>場面の展開、人物の心情を読み取り、古典の世界に親しむ。</li> <li>登場人物の人物像と相互関係を捉える。</li> <li>主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。</li> <li>詩を読み、作者独自の表現を味わう。</li> <li>詩に込められた作者の思いを読み取る。</li> <li>詩の表現技法を復習する。</li> <li>動詞について学習する。</li> <li>形容詞・形容動詞について学習する。</li> <li>教科書準拠のドリルを用い、中学2年の漢字を学習する。</li> <li>問題集を用いて、漢字検定3級合格を目指し学習する。</li> <li>短編の作品だけでなく中長編の作品にも挑戦し、さまざまな世界に関心や興味を持つ。</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語への関心・意欲・態度</li> <li>話す・聞く力</li> <li>読む能力</li> <li>書く能力</li> <li>言語についての知識・理解・技能</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <p>定期考査の成績          定期考査においては、知識・理解や読む能力に偏ることなく、書く能力をみる出題もある。</p> <p>平常点          授業時などの学習過程で、評価の観点の5項目について評価する。          課題などの提出状況・復習テスト・小テストの成績などを評価する。</p>

2 学 期	1. 小説	・人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。
	2. 漢詩	・工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。
	3. 説明文・評論	・返り点について復習する。
	4. 文法	・訓読文を書き下し文に書き換える練習をする。
	5. 漢字	・漢詩を音読・暗唱し、詩に歌われた情景・心情を味わうとともに、漢詩の知識を理解する。
	6. 古文	・抽象的な概念をあらわす言葉について理解を深め、語彙を増やす。
	7. 読書	・接続語・指示語の働きを理解する。
3 学 期	1. 評論	・助詞について学習する。
	2. 古文	・教科書準拠のドリルを用い、中学3年の漢字を先取り学習する。
	3. 文法	・問題集を用いて、漢字検定3級合格を目指し学習する。
	4. 漢字	・さまざまな古文の暗唱をする。
	5. 読書	・中長編の作品を読み、さまざまな世界に関心や興味を持つ。
	6. 書写	・意見と根拠との関係に注意して筆者の主張を捉える。
		・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。
		・作品に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いを想像する。
		・助動詞について学習する。
		・教科書準拠のドリルを用い、中学3年の漢字を先取り学習する。
		・問題集を用いて、漢字検定3級合格を目指し学習する。
		・中長編の作品を読み、さまざまな世界に関心や興味を持つ。
		・詩歌などを行書体で書く練習をする。

第3学年  国語 (週4時間)	教科書	三省堂 『現代の国語 3』
	副教材	漢字検定準2級対策問題集、浜島書店『国語便覧(大阪府版)』、文法テキスト

### 学習到達目標

中学3年生では、中1・中2で養った基礎学力と学習技能に基づいて、学力の充実を図る。

1. 漢字 日本漢字能力検定準2級の取得を目指す。
2. 文学的文章 さまざまな作品に触れる中で、より深い次元での人物の心情・作品の主題をとらえ、そこから社会や人間一般についての理解を深める。
3. 説明的文章 より複雑な文章展開を把握し、筆者の主張を読み取る。また、筆者の物事の見方を参考にしながら、新たな視点を獲得し、自分の考えの幅を広げる。

4. 古典 動詞の活用について学ぶ。さまざまな古文を読み、古典の世界に親しむ。
5. 漢文 書き下し文や再読文字について学ぶ。故事成語などの短文を読み、漢文の世界に親しむ。
6. 表現 書く作業を通して、観察力・表現力をつける。また、グループ発表や質疑応答の作業を通して、筋道を立てて話す力・聞く力をつける。
7. 教材に応じて国語辞典や古語辞典、また便覧や iPad を使い、疑問はその場で調べる・質問する等、自ら学ぶ姿勢で授業に臨む。

### 評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	実社会に必要な国語の知識を学ぶ中で、それらを概念としても理解し、また技能を十分に習得している。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を十分に身につけ、他者に自分の思いや考えを分かりやすく正確に伝えることができる。	言葉がもつ価値への認識が深く、読書を通じて自己を向上させ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わることができる。

### 学習方法

授業を大切にすることが基本である。授業前には必要なものを準備し、着席しておく習慣を付ける。授業中は教師の説明や指示を注意深く聞き、疑問等は状況や必要に応じて、質問する、或いは辞典・便覧・iPad を使って調べるといった能動的な学習姿勢で臨む。ノートは板書や教師の説明を丁寧な字で確実に書くことに加え、自分なりの気づきをメモする習慣を付ける。課題は丁寧に仕上げ、期限を守って提出することを心掛ける。

### 年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週4時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 俳句	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句の表現法、文学史的知識を学び、俳句に詠まれた情景や心情を味わう。</li> <li>・文章の構成や要旨をとらえ、必要に応じて要約する。</li> <li>・事実と意見を区別し、筆者の見方や考え方を理解する。</li> <li>・登場人物の心情や行動の意味を理解し、作品の読みを深める。</li> <li>・自分の意見を発表し、周囲の意見も聞くことで自分の考えをまとめる。</li> <li>・既習事項について復習し、正しく理解する。</li> <li>・和歌の文学史や修辞法を学習し、和歌に詠まれた情景や心情を味わう。</li> <li>・問題集を用いて、漢字検定準2級の合格を目指す。</li> <li>・短編を中心に読み、作品世界を味わう。</li> </ul>	<p><b>【評価の観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語への関心・意欲・態度</li> <li>・話す・聞く力</li> <li>・読む能力</li> <li>・書く能力</li> <li>・言語についての知識・理解・技能</li> </ul> <p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の成績 定期考査においては、知識・理解や読む能力に偏ることなく、書く能力をみる出題もある。</li> <li>2. 平常点 (1) 授業時などの学習過程で、評価の観点の5項目について評価する。 (2) 課題などの提出状況・復習テスト・小テストの成績などを評価する。</li> </ol>
	2. 説明文		
	3. 小説		
	4. 文法 (口語)		
	5. 古文 (和歌)		
	6. 漢字		
	7. 読書		
2 学期	1. 小説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の言動の意味を考え、人物像とその変化をとらえる。</li> <li>・作者の工夫された表現に着目し、作品世界を読み味わう。</li> <li>・文章の展開に注意して内容をとらえ、筆者の主張や文章の要旨をまとめる。</li> </ul>	
	2. 説明文・評論		

	<p>3. 詩</p> <p>4. 古文『おくのほそ道』等</p> <p>5. 随想</p> <p>6. 漢文『論語』等</p> <p>7. 漢字</p> <p>8. 読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい視点を獲得し、自分の考えの幅を広げる。</li> <li>・表現技法とその効果について学習する。</li> <li>・詩に込められた作者の思いを読み取る。</li> <li>・音読・暗唱し、古文のリズムに親しむ。</li> <li>・俳文の特徴を学び、作者の自然や人間に対する思いに触れる。</li> <li>・時代背景を理解し、人間・社会についての考えを深める。</li> <li>・書き下し文について復習する。</li> <li>・音読・暗唱を重視し、再読文字等についても学ぶ。</li> <li>・問題集を用いて、漢字検定準2級の合格を目指す。</li> <li>・長編を中心に、様々な生き方や考え方に触れる。</li> </ul>	
3 学 期	<p>1. 評論</p> <p>2. 小説</p> <p>3. 文法（敬語）</p> <p>4. 漢字</p> <p>5. 古文（文語文法）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の展開の仕方をとらえて、筆者の問題提起を受け止める。</li> <li>・評論を読むために必要な語彙力をつける。</li> <li>・作品の書かれた時代背景を理解する。</li> <li>・人物の心情をとらえながら、主題を読み取る。</li> <li>・口語文法の敬語について学ぶ。</li> <li>・問題集を用いて、漢字検定準2級の合格を目指す。</li> <li>・基本的知識の復習と、動詞の活用について学習する。</li> </ul>	